

‘パンソリ’から朴正熙政権下の‘健全歌謡’へ
——韓国における「いとしのクレメンタイン」受容史

和田 とも美

富山大学人文学部紀要第61号抜刷

2014年8月

‘パンソリ’から朴正熙政権下の‘健全歌謡’へ

——韓国における「いとしのクレメンティン」受容史

和田とも美

1. ‘民族の歌’に対する懐疑

現代韓国で親しまれる童謡には、近代日本の歌に由来するものが相当数含まれている。例えば子供たちに親しまれる「나미야」(ちょうちょう)が、日本の童謡「蝶々」に由来するということを幼少期から知る者は少ないが、やがてその事を知って深い当惑と悲しみを感じる者は少なくない。元来、日本に由来する歌は「倭色歌謡」と名付けられ、植民地時代の傷痕の一つとして解放直後から克服の対象とされて来た。

植民地解放の年が明けた1946年から、政治的標語として「倭色一掃」が掲げられた。植民地時代からある日本語の看板、書店にまだ売られていた日本語の出版物などの「一掃運動」が実施された。¹⁾日本語の看板については1949年になってもまだ、ソウル市長が改めて「追放」を呼びかけている。²⁾目に付きやすい看板のようなものでも「一掃」は容易ではなく、完遂されることはなかった。ましてや人々の記憶に染込んだ歌の「倭色一掃」は、不可能とあって良い。それだけに「倭色歌謡」は、その後の軍事政権時代を通じて各政権が最も注意を払ったものの一つであった。日本語の歌はもちろん現代韓国語の歌であっても、曲調や歌詞が‘日本風’と判断されるだけで「倭色歌謡」として禁止曲に指定された。その象徴的な大衆歌が、1965年に流行曲となった「동백아가씨」(椿娘)である。この曲が禁止曲に指定されたのは、日本の演歌風であるという理由だった。他の禁止曲と共に解禁されたのは実に1987年になってからのことである。³⁾

1) 「왜색일소에 한국청년회동원」(倭色一掃に韓国青年会動員), 『朝鮮日報』, 1946.08.29。日本語訳は私訳。

2) 「왜색간판 추방 운서울시장 회견담」(倭色看板追放尹ソウル市長会見談), 『朝鮮日報』, 1949.03.10。

日本語訳は私訳。「倭色一掃運動」の経緯については金成攻「『文化的国境』と『想像された禁止』」(『情報学研究』81, 2011, pp.1-22)にまとめられている。

3) 이미지 [李美子 1941-] が歌った「동백아가씨」が「倭色歌謡」という理由で禁止曲に指定されたことは韓国内に衝撃を与えた。放送審議委員会による統計では1965-69年間に放送禁止となった歌謡は419曲、そのうち「倭色」という理由で禁止された歌謡は120曲にのぼる。(이진아, 「1930년대 가요정화운동과 ‘건전가요’의 창출」, 『한국사학회 사회학대회 논문집』, 2009) 禁止曲解禁前後の事情については선성원 『우리가 정말 알아야 할 우리 대중 가요』(현암사, 2008)に詳しい。また歌手李美子の回想談が川村湊・佐野良一選『ソウルソウルソウル—原語で歌う88—』(集英社文庫, 1988, p.30)に掲載されている。

政治的都合とはまた別に、音楽教育の現場を担う者たちにとって、‘韓国の歌’として何を教えるべきかは切迫した問題である。1980年代までは、幼少期から韓国の歌として長く親しんだ歌であれば、「倭色」を疑うこともなかった。ところが1990年代に入って近代歌謡の研究が蓄積され、愛唱歌のルーツが明らかにされるにつれ、植民地解放後生まれの世代に強い当惑と悲しみをもたらすことになった。1946年生まれの音楽教育研究者は、次のように強く警告する。

「学徒歌」は我が民族の歌なのか、日本の歌なのか、という問いに対する答えは自明である。日本の歌だ。歌詞だけが我が民族の歌詞だからといって、その歌が我が民族の歌とはいえないのだ。洋楽も同様だ。音楽の物理的（音響的）土台に日本の音楽や西洋の音楽を使って、歌詞を我が民族の歌詞にしたといっても、我が民族の歌ではないのだ。我々がそのハンゲルで書かれた歌詞から苦痛を感じる理由がまさにここにある。今では、ハンゲルの歌詞だけを見て、我が民族の歌だと‘むやみに’断定し‘だまされてしまう’という呆れる現象ばかりもたらされた。⁴⁾

ハンゲルで書かれた歌詞であるが故に、韓国の歌だということに何の疑いももたれなかった愛唱歌の数々が、その実、日本語の歌に由来するか、或いは日本の植民地政策に従って現地語で作成されたものだった。そのことを知ってわきあがる‘だまされた’という感覚に端を発し、「我々が知っている学校の校歌、唱歌、軍歌、演歌類の歌謡は、日帝下に作られたものであれば、一旦は検証せねばならない」⁵⁾という疑心暗鬼が近代歌謡の一切に向けられて行った。

ここで例とされている「学徒歌」は、大韓帝国期 [1897-1910] に‘韓語’で歌詞が作られたものである。しかしその「学徒歌」は、日本の「鉄道唱歌」の楽曲をそのまま利用したものであって、日本の歌と見なすべきであるという。もっとも「学徒歌」は、歌詞が漢文調で難解であり、学校教育で使用されたとはいえ現代まで広く愛唱歌となっているものではない。⁶⁾

だが、幼少期から親しんだ童謡にも同じ‘だまし’が潜んでいる。童謡「나비아」(ちょうちょう)は、ドイツ歌謡由来として知られ、植民地時代の傷痕を感じさせるものではなかった。しかしこの歌もまた、日本語の「蝶々」に由来する。「学徒歌」や「나비아」のように、植民地

4) 노동은 [魯棟銀 1946-], 「『학도가』 우리 노래인가, 일본노래인가?」(「学徒歌」我が民族の歌なのか、日本の歌なのか?), 『노동은의 두번째 음악상자』, 한국학술정보, 2001, pp.97-104. 日本語訳は私訳。

5) 노동은, 「『학도가』 우리 노래인가, 일본노래인가?」, 上掲, p.103.

6) 「学徒歌」は学校で教えられた歌詞と、巷間で愛唱されていた歌詞とで異なっていたことが知られている。「民衆の間で、同じ旋律によって別の歌詞の「学徒歌」がうたわれていた。その歌詞は朝鮮独立を鼓舞する内容であった」(植村幸生, 『韓国音楽探検』, 音楽之友社, 1998, p.114)

化以前の大韓帝国期から母語の歌として広まっていながら、その背後に‘日本’を隠し持つことになった背景には、近代の初等教育における「唱歌」教育がある。

植民地朝鮮の初等教育における歌の教育は、主に唱歌を通じて行なわれ、その教科書は短い間に何度か改訂を重ねている。唱歌教科書に掲載された歌を日本語の歌が席捲するのは、1939年の改定教科書以後である。それ以前の唱歌教科書は基本的に朝鮮語で書かれており、日本語の唱歌の翻訳か、朝鮮半島の地名などを歌詞に入れて新たに作らせた朝鮮語の歌が数多く含まれていた。⁷⁾

それらの歌は、母語の歌として子供たちに記憶された。そして解放後に、あからさまな日本の面貌を示す日本語の歌が排除されてからも、長く歌い継がれることになった。中でも、植民地化直前の大韓帝国期に、政府の学部によって編纂された『普通教育唱歌集第一輯』(1910)は、27曲全てが‘韓語’の歌詞である。その中に「学徒歌」も「나미야」(ちょうちょう)も含まれている。すでに日本の統監府の干渉下にあったとはいえ、この時期にはまだ、国語＝‘韓語’であり、国語＝日本語ではなかった。政府の学部編纂教科書には『國語』の教科書があり、その作成に日本人顧問が深く介入していたとはいえ、それは‘韓語’の教科書だったのだ。⁸⁾

その時期に編纂された唱歌集に含まれている‘韓語’の歌に、‘民族の歌’を期待したとしても無理からぬことである。しかしその『普通教育唱歌集第一輯』は、全曲日本の統監府の指導下に、日本語の唱歌を元に翻訳または創作されたものだった。この唱歌教科書の歌詞と楽曲について、1963年生まれ音楽史研究者は次のような落胆を吐露する。

『普通教育唱歌集』は6曲の西洋民謡を除外すれば、21曲が日本の音階で作曲されており、日本の伝統拍子と関係のある2/4拍子や4/4拍子、4/8拍子で構成されている。西洋から受容された歌もまた、日本人が作った歌詞を、我が民族の言葉に翻訳したものであって、日本の唱歌集に掲載されていた曲である。ただの一曲も、韓国人の情緒が表現されたものは無かった。

7) 植民地期朝鮮の唱歌教育に関する研究は、韓国では『韓國現代文化史体系 1. 文學藝術』(高大民俗文化研究所, 1981)所収「現代音楽」の項目をはじめとして特に1990年代に数多く発表されている。日本でも韓国の研究成果に独自の調査を付け加えた高仁淑『近代朝鮮の唱歌教育』(九州大学出版会, 2004)が出版されている。それらの研究によると朝鮮教育令改正と共に皇民化教育が展開された1938年から唱歌教科書も日本語のみとなった。それ以前の唱歌教科書のうち特に文化政治期に編纂されたものには朝鮮語の歌が相当数見られる。例えば1926年朝鮮総督府発行『普通学校補充唱歌集』二学年用では10曲のうち6曲が朝鮮語歌詞でそのうち4曲が「懸賞募集」による歌詞となっている。

8) 大韓帝国期の韓国政府学部編纂教科書はそのほとんどが『韓國開化期教科書叢書』(亜細亜文化社, 1977)に収録されているが『普通教育唱歌集第一輯』は含まれていない。

『普通教育唱歌集』によって唱歌を教育された学生達の胸の中には日本の情緒が刻み込まれており、このことが何十年も過ぎて解放を迎えた後にも、日本の音階で構成された曲を好む結果をもたらしたのだ。そしてこの『普通教育唱歌集』に掲載されていた数々の曲が、今でも口から口へと伝えられる口伝童謡の役割をしていることを鑑みる時、主体的な音楽文化創出の為の望ましい韓国的な音楽言語が、一日も早く定立されねばならないであろう。⁹⁾

母語の歌でありながら「一曲も韓国人の情緒が表現されたものは無かった」と断言せざるを得ない深い落胆は、解放後に生を受けた全ての世代で繰り返し確認されるものとなっている。

といて、それらの歌を即座に子供たちの歌生活から追放するには、あまりにも定着してしまっている。例えば「나비아」(ちょうちょう) に関して見ると、『유치원동요365+20』(幼稚園の童謡365+20) には、「나비아」という題名で2つの曲が収められている。¹⁰⁾ 1曲は近代初期に日本語の「蝶々」を元に作られた「나비아」, そしてもう1曲は、童謡作家として名高い尹石重 [윤석중 1911-2003] 作詞の「나비아」である。尹石重の「나비아」は、曲には日本でもよく知られている歌曲「ヘンゼルとグレーテル」の中のアリアが使用され、歌詞は日本の「蝶々」とは全く無関係に新たに創作されたものである。つまり、「倭色」であっても長く親しまれている童謡はそのまま残し、それらと併存する形で国産の歌詞を普及させることが、今の時点でとり得る最善の方法と見られているのだろう。

近代歌謡の一切に疑いの視線が向けられる中、民謡「아리랑」(アリラン) や「도라지」(ききょう) は、音楽教育に重要な役割を果たしている。楽曲からして日本や西洋のものとは異なることは明らかで、朝鮮半島の伝統的な拍子と旋律を明確に伝承している。この2曲のように、伝統性が明らかで現在でも歌い継がれている歌は、あまりにも少ない。前述の幼稚園向けの童謡曲集では、「伝来童謡」または「韓国民謡」と表示されたものは385曲のうち10曲に留まっている。¹¹⁾ といて、朝鮮半島にもともと歌が希少だったわけではない。植民地朝鮮出身の文人金素雲 [1907-1981] が日本語に訳出し、北原白秋が「序」を寄せた『朝鮮民謡集』(1929) に

9) 박은경, 「학부편찬 『보통교육창가집』 연구」, 『친안외국어대학 논문집』 1, 2001, pp.518-519. 日本語訳は私訳。박은경 [朴恩鏡] はこの論文の他にも「이상준의 『풍금독습중등창가집』 연구」(『음악과민족』, 1996, pp.228-256), 『근대창가의 연구』(서울대학교大学院西洋音楽専攻博士学位論文, 1998) 等の論考において韓国の近代唱歌集について持続的に検討している。

10) 이계석, 『세광음악출판사』, 1995.

11) この歌集では「가위 바위 보」「고무줄 놀이」「도라지 타령」「두꺼비」「뚝뚝 누구십니까」「새야 새야」「아리랑」「여우야 여우야」「우리집에 왜 왔니」「타박 머리」の10曲に「伝来童謡」または「韓国民謡」と表示され、他の歌には作詞作曲者が明示されているか、「アメリカ民謡」のように由来が表記されている。

は、200曲を超える民謡・童謡が収められている。¹²⁾ の中には「나미야」(ちょうちょう)もあるが、現代の歌詞とは類似するところが全く無い。他に「月」等、題目や題材には現代の童謡と一致するものがあるが、歌詞には共通点が無い。楽譜が付されていない為、旋律は確認できないが、歌詞が現在知られているものと一致するのは「아리랑」や「새야 새야」(鳥よ鳥よ)等ごくわずかな数にとどまっている。朝鮮の民謡に関する資料は、同時期に原語でも刊行されている。¹³⁾ その収録歌のうち「자장가」(子守唄)については、多少の地方差はあっても、ほぼそのままの形で現代まで伝承されていることが確認される。それ以外の収録歌は、現代の子供たちの歌生活にはほぼ全く受け継がれていない。

もちろん日本でも現在童謡として知られている多くの曲が、明治以降、欧米の歌謡を多数参照して創作されたものであることはよく知られている。韓国でも、現在親しまれている童謡の多くが、近代以降に欧米の歌謡の影響下に作られたことが否定されることはない。否定されるべきものは、植民地時代の日本文化の影響なのだ。とりわけ、欧米由来と認識されて抵抗感無く受け入れられているものが、実は日本経由である場合にその落胆は深い。その中で、特別なものとして受け止められている歌が、「나의 사랑 클레멘타인」(いとしのクレメンタイン)である。

2. ‘民族の情緒’としての「나의 사랑 클레멘타인」(いとしのクレメンタイン)

2-1. 作詞者探し

日本の歌として知られる「雪山賛歌」の原曲が、アメリカ民謡の*My Darling Clementine*であることはよく知られている。その*My Darling Clementine*が、韓国では「나의 사랑 클레멘타인」(いとしのクレメンタイン)として、アメリカ民謡の原曲とも、日本の「雪山賛歌」とも異なった物語を紡いでいる。日本で「雪山賛歌」がそうであるように、韓国の「いとしのクレメンタイン」もまた、世代を超えた愛唱歌の一つである。その歌詞を次に訳出する。

(1)

넓고 넓은 바닷가에 오막살이 집 한 채	広い広い海辺にほったて小屋の家一軒
고기 잡는 아버지와 철모르는 딸 있다	魚とりの父親と年端もゆかぬ娘がいる
내 사랑아 내 사랑아 나의 사랑 클레멘타인	愛しき者よ愛しき者よいとしのクレメンタイン

12) 金素雲訳著、北原白秋訳、『朝鮮民謡集』、泰文館、1929。

13) 金素雲編著、『諺文朝鮮口傳民謡集』、東京、第一書房、1931。「序」によると、ここに収められた歌は1920年代の後半に日刊新聞『毎日申報』の学芸面で読者に呼びかけて蒐集したものや、個人的に蒐集したもので約2000篇にのぼるといふ。

늙은 애비 혼자 두고 영영 어디 갔느냐 老いた父を一人残し永遠にどこかへ行ったのか

(2)

바람 부는 하룻날에 아버지를 찾으러 風吹くある日 父を探しに
 바닷가에 나가더니 해가 저도 안 오네 海辺に出て行ったまま 日が暮れても帰らない
 내 사랑아 내 사랑아 나의 사랑 클레멘타인 愛しき者よ愛しき者よいとしのクレメンタイン
 늙은 애비 혼자 두고 영영 어디 갔느냐 老いた父を一人残し永遠にどこかへ行ったのか

[日本語訳は私訳]

父が娘を失った悲しみを歌う歌詞からは、日本の「雪山賛歌」との関連性を見出すことはできない。娘の喪失という点では、原曲の英語の歌詞に近い。

アメリカ民謡の *My Darling Clementine* には、韓国の「いとしのクレメンタイン」には登場しない、娘の恋人が 'I' (私) として登場する。金鉱で一攫千金を夢見る父 'a miner, forty-niner' と共に暮らす娘は、家計を助ける為にアヒルを飼い毎朝水辺に放っていた。娘は靴も無く、'Herring boxes without topses' (蓋の無いニシンの箱) を履物代わりに履いていた為、躓いて流水に転落し溺死する。その時恋人は 'I was no swimmer' (私は泳げなかった) という理由の為に、娘を救出できず、ただ見ているしかなかった。¹⁴⁾ 四番まである長い歌詞を通じて、1840年代のゴールドラッシュを背景に、一攫千金を夢見る人々の生きざまが歌われている。

韓国の「いとしのクレメンタイン」では、父の身を案じて海辺に出た娘が行方不明になり、その娘を探し求める父の悲しみを歌っている。この歌詞の作者については長く不問に付され、「作詞未詳、外国曲」と記されることが常だった。しかし2000年代に入って「朴泰遠作詞説」が、インターネットを通じて韓国内に一気に拡散した。ネット上で「朴泰遠作詞説」に言及するほぼ全員が、全く同じ文章を使っていた。その文章は「この歌が我が国に伝えられたのは3.1運動の直後だという。小説家朴泰遠によって我々の情緒に合うように歌詞が変えられ、哀調を帯びたこの歌は、当時の国を失った悲しみに絶望していた我が民衆の間に広く愛唱され始めた」という内容だった。しかしこの情報には出典が無い。日本での韓国歌謡史研究においても、1987年の時点ですでに「朴泰遠謡」として紹介する論考が見られるが、それにも出典は明記

14) 原曲の英語の歌詞は、ウェルズ恵子「アメリカ民謡と働く人々 (17) ゴールドラッシュソング (3) クレメンタインとジョン万次郎」(『英語教育』, 1999.8, pp. 49-51) 及び *Traditional Songs Clementine* (edited by Ann Owen, illustrated by Sandra D'Antonio, Picture Window Books, 2003) を参照した。

されていない。¹⁵⁾

朴泰遠 [박태원 1909-1986] といえば、植民地朝鮮の文学史において、最も高い評価を受ける文学者の一人である。1930年代の京城の世態を細かに描き出した長篇小説『川邊風景』(1936-37)等、数多くの作品を遺した。南北分断の際に朝鮮民主主義人民共和国側に渡り、歴史長篇小説を中心とした文学活動を展開して『甲午農民運動』全五巻の大著を執筆、1986年死亡したと伝えられる。¹⁶⁾

植民地朝鮮に生きた朴泰遠は、朝鮮語を母語とし、日本語を自在に使いこなすと同時に、幼少期から漢文に親しみ、また英語の習得にも優れていた。中国文学や英文学の翻訳を複数こなしている。従って彼が日本語を介さずに、アメリカ民謡 *My Darling Clementine* から「나의 사랑 클레멘타인」の歌詞を創出したとしても、つじつまの合わない話とはいえない。近代朝鮮文学の巨星と見做される朴泰遠が、日本語の歌詞「雪山賛歌」とはまったく無関係に、英語の歌から民族の情緒に合う歌詞を創出したという話は、韓国の人々に強い好感を持って受け止められ、ネット上の随所にこの情報が転載された。この情報拡散には、日本経由ではない欧米文化の直接的受容に対して、韓国の人びとが感じる強い希求が如実に表れていた。

しかし2009年になって、作詞者は小説家「朴泰遠」ではなく、氏名の発音が同音になる「朴泰元」[1897-1921] だという指摘があった。¹⁷⁾「朴泰元」は、植民地時代に早稲田大学で英文学を専攻したが、24歳で病死した人物だという。この記事を書いたのは小説家朴泰遠の次男であり、本人の回想を元にしてしているのかもしれないが、根拠は示されていない。朴泰遠は1950年に家族を残して単独で朝鮮民主主義人民共和国に渡った後、北側で新たな家族を成して韓国に戻ることはなかった。次男を含めた南側の家族とのつながりは、この1950年時点で完全に断たれている。「朴泰元」説が正しいとしても、24歳で早世した無名の人物による作詞が、どのような経緯で広く知られるようになったのかは依然として不明である。

「韓国人の情緒に合う」と言われる現在の「いとしのクレメンタイン」に対する韓国の人々

15) 朴燦鎬『韓国歌謡史 1895-1945』(晶文社, 1987)は3.1運動直後の歌謡史を概観しつつ「『いとしのクレメンタイン』も、この頃に入ってきたのではないかと思われる」と推量するが根拠は提示されていない。日本語に訳された歌詞が紹介され「朴泰遠 謡」と書き添えられている。「広い海辺に 苦ひと棟 / 漁師の父さんと 幼い娘 / (繰り返し) ネサランア (わがいとし子よ) ネサランア ネサランア クレメンタイン / 老いた父残して どこへ行ったのか / 風の吹く日に父をさがしに / 海へ行ったまま 日暮れても来ない / 金髪に青い目の その名はクレメンタイン / 漁をするたび 思い出すよ (朴泰遠 謡)」(p.119-120)。

16) 朴泰遠の作品は植民地時代から日本でもいくつかの短篇が紹介され、近年では『川辺の風景』(牧瀬暁子訳, 作品社, 2005), 『金若山と義烈団』(金谷権訳, 皓星社, 1980)が翻訳されている。

17) 박재영, 「소설가 박태원 (박태원) 과 음악가 박태원 (박태원), 그리고 <클레멘타인>」, 『중부매일』, 2009.3.30.

の思い入れは深く、その作詞者探しに、日本人が介入することには躊躇を感じざるを得ない。往々にして、韓国の文化史に関して日本人が行ない得る作業は、日本との関連探しに終始するからだ。しかしこの歌詞の形成過程は、朝鮮半島の文芸史と深いかわりがある。にもかかわらず、その経緯が明らかにされることはなかった。韓国の「いとしのクレメンティン」は、アメリカ民謡 *My Darling Clementine* から直に創出されたものではない。とって日本経由でもない。朝鮮半島の歌謡史における *My Darling Clementine* 受容の過程を遡及すると、この前段階の歌詞に辿り着く。その歌詞は、韓国の文芸史上もっとも知名度の高い登場人物の一人、「沈清」に関連付けられたものである。

2-2. 植民地朝鮮に渡った「クレメンティン」

1938年の夏、植民地朝鮮の日報新聞『朝鮮日報』は「無軌道二人行脚 夏の風景画」〔日本語訳は私訳〕と題して旅行記を連載した。二人の女優、金素英と池京順が、朝鮮半島の各地を回り、その情景を写真と共に伝える記事である。

8月14日の連載回は、「그리운 클레멘티! 바다는 노래한다」(懐かしいクレメンティ! 海は歌う)と題されている。江原道楊口の海岸で、釣具を持って白っぽい洋装でたたく二人の白黒写真が添えられている。二人は景色の美しさを語って行く中で、歌を歌い始める。その歌が「클레멘티」(クレメンティ)であり、歌詞も記事中に記されている。

넓고 넓은 바다사이에 오막사리 집한채	広い広い海辺にほったて小屋の家一軒
고기잡는 아버지와 철모르는 딸있다	魚とりの父親と年端もゆかぬ娘がいる
내사랑아 내사랑아 나의 사랑 클레멘티	愛しき者よ愛しき者よいとしのクレメンティ
늙은아버지 혼자두고 영영어디 갔느냐	老いた父を一人残し永遠にどこかへ行ったのか

[日本語訳は私訳]

「クレメンティン」が「クレメンティ」と表記されるのは、近代のハングルによる外来語表記によく見られる母音の変化と言える。¹⁸⁾ この表記以外は、現代韓国で親しまれている「나의 사랑 클레멘타인」(いとしのクレメンティン)の1番と全く同じ歌詞を、1938年の時点ですでに確認することができる。続いてこの歌にまつわる思い出を二人の女優が語り合う。その対話を訳出すると、次のようになる。

18) 近代まで朝鮮語で使用されていた「アレア」は、近代の新聞や雑誌など細かい印刷面ではよく見えず、特に外来語の場合「ア」の音が落ちて普及することも珍しくなかった。

私たちが仲良く歌っていると、波が伴奏し、遠くから白い雲が私たちを手招きして呼ぶ。十五年前の昔、田舎で汚れた服を着て砂遊びをしていた頃、この歌をほんとうに涙が出るほどに、楽しく歌った。

『京順、あんた、小学校の学芸会で独唱したって言ってたでしょう。それでその時、なんの歌を一番上手に歌ったんだっけ?』

『クレメンティ! そうよ、クレメンティを歌ったのよ。そうしたら、みんな拍手してくれたんだわ。今思えばおかしいけど、あの頃がとても懐かしい』

『ほんとうにそうね。トラが出てくるっていう江原道楊口の地にまで、クレメンティが漂ってきたなんて、たいしたものだわ』

[日本語訳は私訳]

語り合う女優の1人金素英 [김소영 1914-?] は、植民地時代に幾多の朝鮮映画に出演した。その主演作『반도의 봄』(半島の春)は2008年に『발굴된 과거 일제시대 극영화 모음 / 1940년대』(発掘された過去 日帝時代劇映画集 / 1940年代)としてDVDで復刻されており、まだ20代の金素英の生き生きとした姿を現在に伝えている。¹⁹⁾ 1945年には『感激の日記』という日本の国策宣伝映画において主演に抜擢された。また日本で1939年に発行された『モダン日本 朝鮮版』臨時大增刊の表紙を、民族衣装をまとってほほ笑む金素英の全身像が飾っている。²⁰⁾ この『モダン日本 朝鮮版』は2007年になって、植民地時代の資料として韓国で翻訳刊行されたが、その受け止められ方は極めて批判的なものだった。²¹⁾

雑誌に反映された当時の日本人の朝鮮観を要約すると、妓生、天然資源、頹落の三つだ。表紙からしてそれを示している。当時映画『国境』で人気が高かった女優金素英が、チマの間からボソン [朝鮮の足袋 - 引用者註] を履いた足をのぞかせて斜めに横たわっている。²²⁾

金素英は解放後すぐ朝鮮半島を離れ、その対日協力的行動も含めて、韓国では忘れられた存在

19) DVD『발굴된 과거 일제시대 극영화 모음 / 1940년대』, 영상자료원, 2008。2004年以降中国電影資料館で植民地時代の朝鮮映画が何篇か発見されており、そのうち4篇の映画が収められた。このシリーズ第2弾として1930年代の朝鮮映画の複製版もすでに発売されている。

20) 1939年11月, モダン日本社。『モダン日本 朝鮮版』は1939年と1940年の2回発行。

21) 『일본잡지 모던일본과 조선 1939』及び『일본잡지 모던일본과 조선 1940』, 어문학사, 2007。

22) 「1939년 모던일본 조선판 번역 출간」, 『한겨레』, 2007.4.8。日本語訳は私訳。

になって行った。²³⁾しかし植民地時代の日本の雑誌が復刻されることで、その表紙に掲載された肖像画が現代韓国の人々の知るところとなった。その結果金素英は、日本人が植民地朝鮮に対して抱いた醜悪な欲望の受け手を表象する者という烙印を押されることになった。

もう1人、小学校の学芸会で「클레멘티」(クレメンティ)を歌ったと回想する池京順は、青春座の看板女優として活躍した。植民地朝鮮の文芸雑誌『三千里』(1938年8月)に、本人の手記が掲載されている。それによると池京順は、15歳で興南永生女高を中退し、父が率いる演劇団で演劇活動を始め、後に青春座に移った。²⁴⁾青春座とは1935年に京城に設立された東洋劇場の専属劇団で、人気俳優を多数抱えて朝鮮演劇界の中心的な劇団の一つであった。²⁵⁾1942年7月、植民地朝鮮の文芸雑誌『大東亜』に、創氏改名した俳優の一人としてその日本語の氏名が掲載された記事を最後に、池京順のその後の消息は知れない。²⁶⁾

植民地朝鮮におけるクレメンタインの歌に関する痕跡は、さらに遡って1927年7月18日付の日刊新聞『東亜日報』にも確認される。その記事は、ある川で四歳の幼女が溺死する事件を報じたものである。幼女は、父が漁に出ている間に川辺で遊んでいて転落、溺死した。その母は先に死亡、父は男手一つで娘を育てていたという。見出しには「클레멘티 노래 가든 환 어부의 독녀 익사, 밀양 남천강에 들발한 비극」(クレメントの歌のよう 鰥夫漁師の一人娘溺死、密陽南川江に突発した悲劇)とある。「クレメント」と記されているが、これもアレア表記が消えていく過程に見られる母音の表記のゆれであり、「クレメンタイン」と同じものと見なされる。この記事を通じて1927年の時点で、父子家庭という境遇にあって父が不在の間に娘が溺死するという出来事が、直ちにクレメンタインの歌に結び付けられるほどに、この歌がよく知られていたことが伺える。

前述の旅行記に登場した池京順は、1938年の時点で、15年前に小学校の学芸会でこの歌を歌った、と言っている。とすれば1923年頃ということである。では池京順はどこでこの歌を知ったのであろうか。学校の学芸会で歌ったと回想されているが、植民地朝鮮における小学校教育で使用された各種唱歌教科書を一通り確認しても、この歌は掲載されていない。同時期に刊行

23) 解放後は韓国から身を遠ざけ、夫であり当代一の男性舞踏家として知られた趙澤元 [조택원 1907-1976]と共にアメリカ、日本等に滞在した。やがて趙澤元と離婚、趙澤元は帰国して現代韓国舞踏への貢献を認められて数々の褒章を受けたが、金素英の消息は伝えられていない。성기숙 『춤의 선구자 조택원』 (댄스포럼, 2006) 参照。

24) 「스타의 고백, 청춘좌의 지경순양」(スターの告白, 青春座の池京順嬢), 『三千里』, 1938.8, pp.173-174。興南は現在は38度線以北の咸鏡南道に位置する。

25) 青春座等の当時の劇団については윤금선 『경성의 극장만담』(京城の劇場漫談, 월인, 2005)に詳しい。それによると東洋劇場は京城にあった定員800名の劇場で、青春座の所属俳優一覧には池京順と共に、解放後も映画等で活躍した俳優たちの名がある。

26) 「남녀배우의 창씨」(男女俳優の創氏), 『大東亜』, 1942.7, p.69。

されていた市販の歌謡集にも、そのままの題名では確認されない。しかし「나의 사랑 클레멘타인」(いとしのクレメンタイン)の原型は、「クレメンタイン」とは別な題名を持って、植民地朝鮮の歌謡集に収められていた。

2-3. 伝統芸能パンソリと近代音楽産業

「나의 사랑 클레멘타인」(いとしのクレメンタイン)の原型が収められたその資料には、パンソリ(판소리)の担い手たちが、近代化の中で退潮して行く伝統芸能を歌い継ごうとした試行錯誤の跡が、西洋式の五線譜に姿を変えて静かに息づいている。

パンソリは、唱者・鼓手それぞれ1名により、語りと歌で長い物語を口演する。最盛期は19世紀で、伝統芸能としては比較的新しい。今でこそパンソリといえ、韓国文化の真骨頂のように取りざたされ、優れた唱者や鼓手は人間文化財として人々の敬意の対象となっている。しかし1970年代まで、パンソリの担い手たちが、一般の人々の冷笑のこもった無関心に耐えていたことはよく知られている。²⁷⁾ 1970年代に入って学生を中心に「伝統芸能の再発見」が行なわれた。

反体制派の文学・演劇・音楽人は、民間芸能の要素を最大限生かすような形で、社会の現実をあらわにするような作品を積極的につくった。「マダン劇」と呼ばれる社会派の演劇、「運動歌謡」と呼ばれるプロテストソングに、伝統の復活を読みとることは難しくない。韓国の大学はこれら新作とともに、復権された伝統芸能の主要な根拠地になった。学内には、民謡、パンソリ、タルチュム、プンムルなどを学ぶサークルが多数つくられ、そこで指導と公演のために専門の芸能者が大学を訪れた。²⁸⁾

一般的な風潮としてはソウルオリンピック(1988)の開催決定を機に、自国の伝統文化への関心が高まったことも契機となった。その次に、映画『서편제』(西便制、林權澤監督、1993)の役割が大きかった。この映画では、植民時時代から現代韓国にかけて、人々の無関心と冷笑の中で漂泊するパンソリ唱者の生きざまが辿られている。孤独な求道者としてパンソリの歌い手を描くという手法が、現代韓国人の共感を広く得て、パンソリに対する注目度を一気に高める

27) 『パンソリ』(平凡社東洋文庫、1982)の翻訳・編者田中明はそのまえがきで「パンソリは本場の韓国でも、決して温かく遇されていたわけではない。僅か一〇年前(1972～3年)の私の経験からすると、パンソリは一部の研究者、一部の芸術家が注目していたものの、知識人で、それに関心を寄せる人は極めて稀であった。当時、ソウルにいた私は、三〇センチLP版のパンソリ・レコードが三枚一組五〇〇ウォンという超安値でダンピングされていたのを買ったりした」(pp.i-ii)と回顧している。

28) 植村幸生、『韓国音楽探検』、前掲、pp.140-141。

ことになった。²⁹⁾

この映画における植民地時代の場面では、流入する日本や欧米の芸能の刺激を受けて‘唱劇’という新たなジャンルが創出されて一時期興隆したことや、その後また目新しい新劇等に押されて凋落していく様相が描かれている。‘唱劇’は、パンソリの唱者を物語の登場人物に合わせて複数登場させ、パンソリを歌劇に変容させた。華やかな舞台は人目を引き、近代初期の日本の音楽産業も、そのエスニックな魅力に注目していた。

朝鮮半島における歌謡の最初のレコードは、アメリカのコロンビア社による1907年発売の『韓歌』シリーズと見なされている。録音は日本の大阪で行なわれ、官妓による「遊山歌」「白頭歌」「임가(郎君歌)」等、7曲7枚が発売された。³⁰⁾ これ以後1920年代を通じて、日本のレコード会社が、妓生やパンソリの唱者、歌謡曲の歌手を朝鮮半島から日本に呼び寄せて録音し、レコードとして発売した。その収録歌は主に、パンソリの構成歌や民謡、伝統楽器の演奏曲、宮廷楽曲等である。

1926年には「古代歌劇소리판(古代歌劇音盤)として『春香傳』全篇18枚が、日本蓄音器商會から発売されている。この時の宣伝文句は次のようなものだった。

春香傳レコード盤全篇完成

古代歌劇レコード盤

永遠に衰残の悲運に陥っていた半島古代劇『春香傳』も蘇生の喜びの道を。日蓄[日本蓄音器商會-引用者註]の努力と半島名唱李東伯、金秋月、申錦紅三人の熱唱で再生され日蓄朝鮮レコード盤として出現しました。³¹⁾ [日本語訳は私訳]

それまでも、パンソリに含まれている様々な歌をアンソロジーとして音盤化したものは少なくなかった。『春香歌』でいえば、「離別歌」「사랑歌(恋愛歌)等、いくつもの歌を取り出すことができる。しかし名唱と称えられる唱者を集め、語りも含めて一つの物語を完全版として録音、発売したパンソリの音盤は、これが初めてであった。他のパンソリの演目では、1935年に『沈清傳』の全篇24枚が名唱李東伯を中心にポリドールから発売された。『沈清傳』につ

29) 日本でも『風の丘を越えて-西便制-』という題名で1994年に公開され、韓国映画としては珍しく好評を得て話題になった。

30) 한국정신문화연구원, 『한국유성기음반총목록』, p.19.

31) 新聞広告「春香傳소리판全篇完成」『東亜日報』。朴燦鎬『韓国歌謡史 1895-1945』(前掲, p.123)では1926年1月の広告とされて出典が明記されていないが、『東亜日報』の広告では1926年11月20日付であることが確認された。

いても、全篇を収録した音盤はこれが初めてと見られる。³²⁾

こうした‘全篇物’のパンソリを、当時どのような人々が享受したのであろうか。音盤『沈清傳』の当時の包装には、この疑問に答える一つの指標がある。ポリドールから発売された『沈清傳』には2種類があり、内容は同じだが包装が異なっていた。一つは「日本語と漢字を使ってデザインされた高級な箱に包装」されており、もう一種類は「蓮の花が描かれた多少粗雑に見える包装」であったという。³³⁾つまり日本人の嗜好に合うように包装された愛蔵版が、別途販売されていたことが分かる。退潮する伝統芸能の中でパンソリは、日本人の‘朝鮮物’への所有欲によって音楽産業の担い手として浮上した。パンソリだけではなくその他の民謡もまた、音楽産業に組み入れられていく。1930年代になると、伝統的な民謡に新しく趣向を凝らした歌が台頭して「新民謡」と呼ばれる。「新民謡」は初期には主に妓生によって歌われた。日本の音盤会社ポリドールは、妓生出身の歌手を「新民謡歌手」として専属契約し、京城で発行されていた日本語新聞『京城日報』等に広告を出している。³⁴⁾つまり日本人向けに売り込みを図ったということである。こうした歌謡は次々と量産され、1930年代後半以降発売される‘조선소리판’（朝鮮音盤）の大半を占めるようになる。³⁵⁾

日本にとって植民地朝鮮の音楽は、新鮮な娯楽として受け止められた。日本の音楽産業が注目したことにより、「永遠に衰残の悲運に陥っていた半島古代劇『春香傳』も蘇生の喜び」を見ることになった。音楽産業として興隆する直前、「永遠に衰残の悲運に陥っていた」ちょうどその時期に「沈清歌」は、アメリカ民謡*My Darling Clementine*と出会っていた。

2-4. *My Darling Clementine*の旋律と「沈清歌」

近代初期の歌謡集『新流行唱歌』（1921）に一つの「沈清歌」が収められている。この「沈

32) これらの「古代歌劇音盤」は、題名に『春香傳』『沈清傳』とあるように、複数の歌い手が登場人物を分担しており、内容的には唱劇に近い。パンソリの場合は『春香歌』『沈清歌』と題されることが一般的である。

33) 송혜진, 「SP 시대 불후의 판소리명작」(SP時代不朽のパンソリ名作), 復刻 CD シリーズ『포리돌심정진』同封解説書, 신나라뮤직, 2004, p.4.

34) 朴燦鎬, 『韓國歌謡史 1895-1945』, 前掲, p.167.

35) 裴淵亨は「한국 유성기음반 총목록 해제」(韓國留聲器音盤總目錄解題, 『한국유성기음반총목록』)において1907年から1945年までの‘조선소리판’（朝鮮音盤）発行の推移を次のように調査した。「伝統音楽としては雅楽, 正楽, 正歌, 各地方民謡, 雑歌, 巫歌, 仏歌, 仮面劇, パンソリ, 唱劇, 伽耶琴並唱, 散調, シナウイのような民俗器楽等, 伝統音楽全般にわたって多量に或いは一, 二種だけでも収録されている。洋楽としては, 唱歌, 賛美歌をはじめとして外国民謡, 声楽曲, 器楽, 独奏曲がある程度収録された。大衆歌謡は全体の留聲器音盤の半分以上を占める程にその規模が膨大であり, これについての研究は別途に成されねばならない。特に1932年以降, 大衆歌謡の比率が圧倒的に伝統音楽を凌駕し1930年後半期には新譜のほとんどが大衆歌謡で占められている」(日本語訳は私訳, p.13)。

清歌」に添えられた西洋式の五線譜は、*My Darling Clementine*の旋律を示している。この『新流行唱歌』は、李尚俊〔1884-1948〕によって編纂された京城三誠社発行の歌曲集で、1921年初版、22年再版、29年三版と版を重ねて発行された。³⁶⁾ その冒頭の「凡例」には「本書は一般世俗に流行する唱歌」を、「一般社会で要求するものを供するためにこれを編んだ」〔日本語訳は私訳〕とある。収録された23曲には全て西洋式の五線譜に加えて、手風琴（アコーディオン）用の運指番号も書き添えられている。どれも作詞者作曲者の明記は無い。編者李尚俊は近代朝鮮の歌曲形成に大きな役割を果たしたが、同時代の他の音楽家に比して、音楽史上の扱いは極めて小さい。³⁷⁾ 『朝鮮俗曲集』（1914）、『名勝地理唱歌』（1922）、『最新中等唱歌集』（1922）、『笑愛楽唱歌』（1930）、『風琴独習中等唱歌集』（1934）等、自身の作曲も含めて多数の歌集を編纂し、学校における唱歌教育に携わった。幼少期はキリスト教系の私立学校で教育を受け、賛美歌や手風琴を習得したという。1911年から13年にかけて朝鮮正楽伝習所朝鮮楽科において歌曲男唱を専攻した。李尚俊の特異さは、伝承歌謡を西洋楽譜で採譜したところにある。伝承歌謡を西洋楽譜で採譜することについて、彼は次のように記している。

在来の曲を書き出すということは、新作よりも更に難しいだけでなく、調べが一定ではないものが多く、以前に発行しておいた中でも、曲をより完全に書くために、この他にもこれまで西洋曲調で書き出していなかったものを新しく書き留めて、一般に供する為にこれを編んだものである。³⁸⁾ [日本語訳は私訳]

「新作よりも更に難しい」作業を経て、西洋式五線譜に「書き出し」(글이여내기)された歌集は、西洋歌謡と伝承歌謡の接点を今に伝える貴重な資料となった。「沈清歌」の歌詞は次のようなものである。³⁹⁾

一, 넷도화동한가덩에그의식구세사람 계집아해심청이요부친일흠심학규

36) ここで使用する『新流行唱歌』は韓国学中央研究院附属図書館蔵第三版で、現在では現物の閲覧は原則として認められておらず、複写したものの閲覧のみ可能になっている。

37) 李尚俊に関する研究は少なく、朴恩鏡が『근대창가의 연구』(近代唱歌の研究, 前掲, 1998)等で、李尚俊を通じた近代朝鮮における歌曲の形成を持続的に追及して注目される。李尚俊の経歴については朴恩鏡の論考を参照した。日本では『韓国歌謡史』(朴燦鎬, 1987)に若干の言及があり「国楽や民謡に興味を持ち、古典音楽の採譜を精力的に行った」(p.74)ことが紹介されている。

38) 李尚俊篇, 『朝鮮俗曲集』, 「凡例」, 1929。この曲集は정재호篇著『한국 속가 전집』5(韓国俗歌全集, 韓国近世文学叢書, 다운샘, 2002)に復刻版が収められている。

39) 可能な限り当時のままの表記で引用するが、現代韓国語で使用されずPC上ではハングル古文字セットの導入によってのみ入力表示される綴りは現代語の綴りに置き換えた。

그모친은심청이를나오신지칠일에	눈먼맹인남편두고이세상을떠났네
二, 압못보는심봉사가간난딸을안고서	동내집에단이면서동량젓을먹인다
젓좁주소젓좁주소불상하고가련한	이어린것젓좁주소이와갓치구걸해
三, 근々득생길너내여나이차고철이나	이제브터지성으로그부친을봉양해
엇더한날중이와서공양미를삼백석	부처의게불공하면눈을다시본다네
四, 만고효녀심청이는남방장사선인의게	공양미쌀삼백석에자기몸을팔엇네
심청이가하나님피기도하여비는말	이몸하나죽는것은설지안이하내다
五, 우리부친어둔눈만하루뵈비나어서	대명던디밝은세게속히보게하소서
부너서로하직할제통곡하며붓드나	선인들이재촉해야할일업시떠나네
六, 장하도다심청이야너의부친어둔눈	떡우라고일평생에한이된그의효성
죽기로써갑흐라고몸과목숨맞치고	물고기에혼이되니가련하고불상타
七, 그아버지찾는말이애고애고심청아	눈먼애비혼자두고영々어대갓느냐
내사랑아내사랑아내의사랑심청아	눈먼애비혼자두고영々어대갓나나

七番までであるこの歌は、西洋式五線譜の音符に歌詞が割り当てられている。曲は *My Darling Clementine* の旋律がそのまま使用されている。この歌詞をできるだけ直訳式に日本語に訳すと次のようになる。

- 一、昔桃花洞のある家庭にその家族三人 娘は沈清で父親の名は沈學奎
その母親は沈清を産んで七日で目の見えない盲人の夫を残してこの世を去った
- 二、前の見えない沈奉士が生まれたばかりの娘を抱いて 近所の家を回って貰い乳を飲ませる
乳をおくれ乳をおくれ不憫で哀れな この幼子乳をおくれ乳をおくれこのように乞うて
- 三、なんとか生き延び育て年を重ねもの心つき 今度は誠を尽くしてその父に仕え養う
ある日僧が来て供養米を三百石 御仏にお供えすれば目を再び開くという
- 四、この上ない孝女沈清は南方の商船の船乗りに 供養米三百石で自分の体を売った
沈清が天に祈って願う言葉 この体一つ死ぬことは悲しくありません
- 五、わが父親の暗い目だけは一日も早く治して 明るい天地明るい世界早く見させてください
父娘互いに別れる際に痛哭してしがみつくが 船乗りたちがせきたてやむなく出発した
- 六、偉い沈清お前の父親の暗い目 開くことを一生の願いとしたその孝誠
死んでかなえようと体と命を捧げ 魚の魂になって不憫で哀れだ
- 七、その父が捜し求める言葉がああ、 ああ、 沈清よ
目の見えない父を一人残して永遠にどこかへ行ったのか
愛しき者よ愛しき者よとしの沈清

目の見えない父を一人残して永遠にどこかへ行ったのか

[日本語訳は私訳]

ヒロイン「沈清」が、父の開眼供養に必要な供養米の代価として、海神への捧げ物として自らの身体を売るところまでが歌われる。完唱すると数時間もかかる長大な「沈清歌」の全体像には及びもつかないが、物語の前半部が要領よくまとめられている。

この歌詞の七番の終節に、*My Darling Clementine*が「いとしのクレメンタイン」に変容するまでの中間形態を見出すことができる。

1) *My Darling Clementine* の終節

Oh, my darling Oh, my darling Oh, my darling Clementine!

You are lost and gone forever. Dreadful sorry, Clementine.

2) 「いとしきクレメンタイン」の終節

「내 사랑아 내 사랑아 나의 사랑 클레멘타인 늙은 애비 혼자 두고 영영 어디 갔느냐」

(愛しき者よ愛しき者よいとしのクレメンタイン

老いた父を一人残し 永遠にどこかへ行ったのか)

*My Darling Clementine*ではクレメンタインを喪った悲しみを恋人が歌う。「いとしのクレメンタイン」では、歌全体が父親との関係で歌われている。この隔たりを繋ぐのが、『新流行唱歌』所収の「沈清歌」の終節である。

3) 『新流行唱歌』所収「沈清歌」の終節

「내 사랑아 내 사랑아 나의 사랑 심청아 눈먼 애비 혼자 두고 영영 어디 갔느냐」

(愛しき者よ愛しき者よいとしの沈清

目の見えない父を一人残して永遠にどこかへ行ったのか)

[強調引用者、日本語訳は私訳]

すなわち、朝鮮半島における *My Darling Clementine* の受容は、次のような過程を経て成立している。

過程1. *My Darling Clementine* の旋律 + 「沈清歌」のあらすじ

ゴールドラッシュの最中、一攫千金を狙う男が恋人クレメンタインを失う *My Darling Clementine* という歌から、まず旋律だけが、「沈清歌」の旋律として受容された。その結果、

原曲とは無関係に、父が海で娘を失う歌へと変容した。

過程2. ヒロインが‘沈清’から‘クレメンタイン’に戻る

父が海で娘を失う歌という土台の上に、ヒロインの名が‘沈清’から‘クレメンタイン’に再度戻されて「いとしのクレメンタイン」が形成された。この時、原曲のゴールドラッシュという歴史的文脈は失われた。「沈清歌」というパンソリの文脈も不明となった。

この歌が収められた歌謡集『新流行唱歌』が刊行された1921年前後は、古い歌が「永遠に衰残の悲運に陥っていた」時期に該当する。まさにこの時期に、アメリカの民謡の旋律に乗せて「沈清歌」が歌われた。ここには、旋律は目新しいものに置き代えても、せめて物語なりとも伝承しようとしたパンソリの担い手たちの試行錯誤が刻み込まれている。

しかし *My Darling Clementine* の旋律上に乗せられた「沈清歌」は、すぐに消え去ったものと見られる。1923年には既に、池京順が小学校で「클레멘타인」(クレメンティ)を歌った。植民地化が進むにつれ、植民地の歌謡が植民する側によって注目され、音楽産業の担い手として浮上した。1926年には「永遠に衰残の悲運に陥っていた半島古代劇『春香傳』も蘇生の喜びの道を」という広告文と共に、日本蓄音器商會から『春香傳』全篇18枚が発売された。同じく全篇物『沈清傳』も1935年に発売された。古い歌が音楽産業に乗って本来の形で「蘇生」と共に、クレメンタインの旋律もまた、本来の主人公の名を取り戻して行ったと考えられる。

『新流行唱歌』の編者李尚俊は、音盤のような記録媒体が普及していない1910年代から、伝承歌謡の記録に心血を注いだ。口承でのみ伝承され、新しい流行と共に忘れられて行く古い歌を、西洋音楽の楽譜に載せて記録化した。その労力に比して彼の仕事は後世にほとんど評価されなかった。その要因として、音盤という記録媒体が出現した為、無理に楽譜として書き残さずとも記録可能になったことが挙げられるだろう。

音盤の普及により、「沈清歌」等のパンソリ系の歌謡も新たな音楽産業として浮上した。その一方「いとしのクレメンタイン」は、主人公の名前を取り戻した。ただし「沈清歌」を経由することで、原曲の歴史的な文脈から切り離され、「民族の情緒」に合う父娘の物語として愛唱曲となった。植民地解放を経てこの歌は、軍事政権下においてまた別の意味を背負わされることになる。

3. ‘健全歌謡’としての「나의 사랑 클레멘타인」(いとしのクレメンタイン)

3-1. 軍事政権下の‘健全歌謡’

1986年に発行された『건전가요집』(健全歌謡集, 서울特別市交通研修院)には、まず巻頭に「愛国歌」が掲載され、その次に「国民の歌」「儀式の歌」「歌曲」「わが国の民謡」「外国民謡」

「グループ歌」「生活の歌」の各項目に分類された‘健全歌謡’の楽譜と歌詞が収められている。その中に「클레멘타인」(クレメンタイン)も含まれている。一般的に知られている「いとしのクレメンタイン」と全く同一の歌詞と旋律のものである。

‘健全歌謡’というものが、1970年代から80年代に韓国に生きた人々にとってどのようなものであったのか、それが呉英進[오영진, 1970-]の掌編漫画「不眠症」⁴⁰⁾に的確に表現されている。技術供与の目的で派遣された韓国の技術者が北朝鮮で朝を迎え、大音響で流される政治歌謡に悩まされる。その時思い出されるのが、自身が成長した1979年の韓国で迎える朝だった。その驚きをコミカルに表現した秀逸な一篇である。その文章だけを訳出すると次のようになる。

「不眠症」 * [] 内は引用者の註, 日本語訳は私訳。

<p>1979年 南韓 [道端の拡声器から流される大音響の歌] 夜明けの鐘が鳴ったね～ 新しい朝が来たね～</p> <p>[寝ていた少年の頃の呉氏] 「うわっ 気が変になりそう～」 がばっ 「ちょっと寝かしてくれよ～」 [少年の頃の呉氏拡声器を覗みつける]</p> <p>がんっ [少年の頃の呉氏が拡声器に石を投げつける] (村長)「おい、待て！」 [村長が少年の頃の呉氏を捕まえようと走ってくる]</p>	<p>2000年 北韓 [韓国語で北朝鮮を示す] [道端の拡声器から流される大音響の歌] 抗日武装闘争精神受け継いで 強盛大国建設に総進軍</p> <p>[寝ていた現在の呉氏] 「あっ 気が変になりそう～」 がばっ 「ちょっと寝かしてくれよ～」 [現在の呉氏拡声器を眺める]</p> <p>ぬっ 「あなた、そこで何なさってるんですか」 [突如現れた北朝鮮の監視員が、呉氏をとがめる]</p> <p>「運動してます」 おいっちに [監視員の前で体操するふりをする呉氏]</p>
---	---

政治体制は全く異なる筈の韓国と北朝鮮だが、2000年の北朝鮮の朝の風景が、呉氏に1970

40) 『남쪽 손님-보통시민 오씨의 북한체류기 548 일 (상)』, 길찾기, 2004, pp.50-51. 漫画家で技術者でもある呉英進が、韓国電力公社職員として北朝鮮に技術者派遣されて2年余の出来事を掌編漫画集として発表。下巻に『빛장영기-보통시민 오씨의 북한체류기 548 일 (하)』がある。日本語訳に西山秀昭訳『マンガ出張先は北朝鮮1-南から来たお客さま』『マンガ出張先は北朝鮮2-涙と笑いの庶民生活』(作品社, 2004)がある。

年代の韓国における農村の朝を思い起こさせる。大音響で少年期の呉氏の眠りを破った「夜明けの鐘が鳴ったね」という歌詞は、「새마을 노래」(新しい村の歌)⁴¹⁾の冒頭である。1970年代の初頭から80年代の中盤まで、とりわけ農村部で拡声器を通じて、この歌が早朝から大音響で鳴り響いて人々の眠りを破った。人々は毎朝、「새마을운동」(新しい村運動)の精神を再認識せざるを得なかった。

朴正熙大統領作詞作曲と記されたこの歌は、‘健全歌謡’の中でも人々の記憶に最も深く刻まれたものと言える。‘健全歌謡’は初期には曖昧な形で、やがては確固たる枠組みとして1970年代から80年代の韓国大衆歌謡を統制した。‘健全歌謡’という言葉が政権の標語として使用され始めるのは、遅くとも1971年から確認することができる。この年、「第一回全国健全歌謡競演大会」が開催されている。1972年年頭には政府の機関である文化公報部が「健全歌謡普及方向模索懇談会」を開いた。そして同年3月には文化公報部による「健全歌謡汎国民的皆唱運動」が展開される。⁴²⁾

これより先に何らかの望ましい行動を奨励する為の歌といった、より曖昧な形での使用は1960年代前半から始まっていることが確認される。例えば『東亜放送18年史』によると、「걸어서 가자」(歩いて行こう)という歌は、1964年にラジオ放送局東亜放送が提唱した‘歩こう運動’のキャンペーンソングとして製作され、後に‘健全歌謡’としても歌われるようになったという。⁴³⁾当時ソウルでは労働運動の高まりによるストライキが繰り返され、市内交通に大きな影響を与えていた。生活情報の提供を放送理念として掲げていた東亜放送はこの事態に際し、「歩いて行こう」という歌を流しつつ、‘歩こう運動’を提唱した。⁴⁴⁾‘歩こう運動’は、当初政権のキャンペーンであったわけではなく、歌も政権が指定したものではなかった。このように始まりは民間言論からの提唱であったものも、いつしか政権の‘健全歌謡’に組み入れられるといった様相であった。1966年には、政府の公報部が「올해는 일하는 해」(今年は働く年)を‘健全歌謡’に選定した。これに前後して各局が自発的な協調として‘健全な放送歌謡’を選定し

41) 「새마을 노래」の歌詞1番は次のとおりである。「새벽종이 울렸네 새아침이 밝았네 너도나도 일어나 새마을을 가꾸세 살기 좋은 내 마을 우리 힘으로 만드세」(夜明けの鐘が鳴ったね。新しい朝が明けたね。君も私も起き上がり、新しい村を手入れしよう。暮らしやすい私の村。私たちの力で作ろう)、日本語訳は私訳。

42) 「全国健全歌謡競演大会」の様子は韓国政策放送が提供する映像DB「e-영상역사관」(e-映像歴史館、<http://www.ehistory.kr/>)に公開されている当時のニュース映像で視聴することができる。また文化公報部の健全歌謡推進の動きは『朝鮮日報』1972年1月15日付記事から確認され始める。

43) 東亜放送は1963年開局のラジオ放送局。光州事件直後の1980年11月全斗煥政権による言論機関統廃合によって経営権を剥奪され閉局。『東亜放送18年史』はウェブサイト「민족의 소리 동아방송」(民族の声東亜放送 <http://dbs.donga.com/>)に公開されている。

44) 歌詞は次のようなものである。「爽快な朝だ歩いて行こう／君も歩き私も歩いて行こう／歩けば健康だ歩いて行こう／愉快的気分だ歩いて行こう／学校にも仕事場にも歩いて行こう」。日本語訳は私訳。

た。東洋放送の「청소하는 새 아침을」(掃除する新しい朝を, 1964), KBSの「웃음 진 하루」(笑顔の一日, 1967)等がその例である。⁴⁵⁾

‘健全歌謡’を政権の奨励として定着させる為に、‘不健全な’歌謡の排斥が必要とされたことは言うまでもない。政権に対する一切の批判を封じ込めたことで悪名高い「緊急措置9号」が発令された1975年以降は、‘健全歌謡’の普及と‘퇴폐유행가’(退廃流行歌)の排除が並行して実施される様子を、当時の新聞記事に見ることができる。ソウル市では毎週土日に‘健全歌謡普及運動’が展開され、特に中高生に対しては、「退廃流行歌に染まらないよう健全歌謡の普及」を目的とした音楽教育が、文教部によって実施された。⁴⁶⁾

この時期に発売されたレコードを見ると、消去不能な形で刻み付けられた‘健全歌謡’を、今なお確認することができる。その様子について、1946年生まれで、長く歌謡曲製作の現場で仕事をして来た音楽評論家は次のように回想する。

維新の時代には、全てのレコードの最後のトラックに健全歌謡を収録することが必須であった。手違いで入れ忘れるようなことがあれば、配布されたレコードが全て回収されるのはもちろん、製作者は法的な制裁まで受けた。レコードに吹き込まれた健全歌謡としては、言うまでもなく「새마을 노래」(新しい村の歌)が突出して多く、その次には「시장에 가면」(市場に行けば)がよく収められた。1980年代にはチョンスラが歌った「아, 대한민국」(ああ、大韓民国、パクコンホ作詞、キムジェイル作曲)がもっともよく収められた。1970年代を経て、1980年代中盤まで、健全歌謡と官製歌謡が全盛期をわがものとした。各種宣伝のかけ声が乱舞するこれらの歌は、私たちの暗かった時代を見せてくれる、痛みを感じさせる歴史だ。⁴⁷⁾

また1972年生まれの大衆歌謡評論家は次のように回想する。

1970～80年代にレコードを購入したことのある人なら、LPやカセットテープに必ず一曲ずつ唐突に入っていた健全歌謡を記憶しているだろう。あの時代に発売された歌謡レコードには、レコードの主人公や雰囲気とは無関係に、レコードのA面かB面の最後に必ず軍歌や創作健全歌謡が挿入され、鑑賞者を‘目覚め’させた。今の感覚で見ればコメディのようなことだが、当時は全く笑えなかった。義務だったから。「조국찬가」(祖国賛歌)、「어

45) 선성원, 『우리가 정말 알아야 할 우리 대중 가요』, 前掲, 2008, p.101.

46) 『朝鮮日報』1976.4.27 及び 1978.11.16。日本語訳は私訳。

47) 선성원, 『우리가 정말 알아야 할 우리 대중 가요』, 前掲, p.198。日本語訳は私訳。

허야 둥기둥기」[‘おおよしよし’といった乳児をあやす言葉－引用者], 「시장에 가면」(市場に行けば)のような曲が, 当時のレコードの最後尾に「健全歌謡」という結語を伴って数知れず収められていた。⁴⁸⁾

朴正熙政権終焉後もレコードやカセットテープには依然として‘健全歌謡’が収録された。収録の是非が論じられ始めたのは1986年になってからのことであり, 1988年に至ってようやく収録廃止の世論の高まりが報じられた。⁴⁹⁾

健全歌謡の挿入が, 法的な拘束力を持っている強制規定ではないというのが, 文化公報部や公演倫理委員会の立場である。社会浄化委員会やソウル市, 国防部等で, 特定の「健全歌謡」の普及を希望する場合, これを文化公報部で検討し, 放送社, レコード社, 公演倫理委員会等に自発的な協調を要求する形式になっている。⁵⁰⁾

レコードへの「健全歌謡挿入」を要求して来た筈の, 文化公報部や公演倫理委員会が「法的な拘束力を持っている強制規定ではない」という見解を表明した。朴正熙政権の終焉から7年が経過した時点で, 既にどの機関もこの規制の主体たることを忌避している。この規制の為に「法的な制裁」を受けた音楽人たちを愚弄するような, 歴史的変化であった。

この当時の音楽人に共通しているのは, 「健全歌謡挿入」を要求された期間についての記憶が曖昧だという点である。1990年代後半になると, 軍事政権時代の大衆音楽に関する記録資料や回想録が発表され始めた。MBC放送特別企画「이제는 말할 수 있다」(今なら話せる)シリーズに含まれる『금기의 시대－건전가요와 금지곡』(禁忌の時代－健全歌謡と禁止曲, 2000-)や, 한겨레(ハンギョレ)新聞に当時を知る音楽人たちが連載した「한국팝의 사건·사고 60년」(韓国ポップの事件・事故60年, 2005-), 音楽プロデューサーによる回想録⁵¹⁾等がある。これらに記述される‘健全歌謡’は, おおまかに「1970～80年代」の出来事として回想されている。同じ歌謡統制でも, ‘禁止曲’については, 1987年8月7日「公演禁止解除措置」が発令されて解禁処置がとられたことで終焉を迎えた。⁵²⁾一方で, ‘健全歌謡’には明確な始まりや終わりはない。

48) 이용우, 「한국 팝의 사건·사고 60년」(71), 『한겨레』, 2006.10.22. 한겨레新聞の企画連載で韓国の大衆歌謡の歴史が語られている。日本語訳は私訳。

49) 『朝鮮日報』, 1986.4.2 及び 1988.2.6。

50) 「健全歌謡 ‘廃止’ 世論」, 『朝鮮日報』, 1988.2.6, 日本語訳は私訳。

51) 고재형, 『고 PD 와 함께 떠나는 노래산책』, 금싸라기, 1996。

52) 문옥배, 『한국금지곡의 사회사』, 예술출판사, 2004, p.152。

規制の根拠としては、1979年に「음반삽입의무제」(音盤挿入義務制)が施行されたことが指摘されている。政権が指定した‘健全歌謡’を、レコード1枚につき1曲以上収録することを義務付けたものである。⁵³⁾しかし現場の音楽人たちの証言によると、実質的にはそれより早く始まっていたという。⁵⁴⁾1976年の「애국가요 권장 방안」(愛国歌謡勸奨方案)公布の頃から、‘健全’だと政権に認定された曲を収録しないレコードを発売した会社や歌手等は、「緊急措置9号」(1975年発令)のような恣意的に適用可能な規定によって連行、警告や処罰を受けた。それが繰り返された末に、防御策として前もって‘健全歌謡’が収録されるようになったということになる。

「健全歌謡‘廃止’」は、全斗煥政権が終焉する1988年2月に、ようやく世論として登場した。しかしその規制の主体であった筈の政府機関が法的根拠を否定した以上、何を撤廃すれば‘健全歌謡’の収録を廃止することができるのか、見極めのつかない状況になっていた。言論としても、何に抵抗すれば良いのかを明確にすることができず、「健全歌謡自体が悪いものではなく、選曲の基準を明確にする時が来ている」⁵⁵⁾という調子であった。この後、‘健全歌謡’という言葉自体は、‘子供から大人まで一緒に歌える良い歌’というような広い意味で使用が続いたことが確認される。⁵⁶⁾レコードへの収録については、法的根拠が否定された1988年を機に、「自主的な協調」が消滅して行ったものと考えられる。

3-2. 1922年生まれの政界人と「クレメンティン」

韓国の大衆歌謡史における‘健全歌謡’の研究は、2000年代に入って、主に禁止曲の傾向分析、または愛国的な歌や大統領賛美の歌など特徴的な歌の傾向分析を中心に行なわれるようになった。これらの特徴的な歌の他に、‘健全’と認定される理由が不明瞭な歌も少なくない。「いとしのクレメンティン」が‘健全歌謡’に選定されていることは、実に奇妙な光景に見える。いったいどんな‘健全さ’がこの歌に認められたのだろうか。少なくともアメリカ民謡の原曲では、男たちは金鉱での一攫千金を狙い、溺れる娘を目前にして泳ぎを知らない恋人はただ傍観するしかなく、その死の直後に娘の妹と恋愛を始める、そのどれをとっても‘健全さ’を示すものではない。

哀しい恋愛の歌自体は、‘健全歌謡’に数多く含まれている。『건전가요집』(健全歌謡集、

53) 문옥배, 『한국금지곡의 사회사』, 上掲, p.163.

54) 강수진, 「‘건장가요’란 뭘까요」, 『스포츠경향』, 2012.11.20.

55) 「健全歌謡‘廃止’世論」, 前掲。

56) 民主化運動を象徴する歌手として知られる楊姫銀[1952-]は、軍事政権時代その多くの曲が禁止曲に指定されたが、禁止解除措置以降「第2の全盛期を迎えた」ことが報じられた。その記事ではかつて禁止曲にされた楊姫銀の代表曲「常緑樹」について「国民全ての健全歌謡」と述べ、‘健全歌謡’という言葉がむしろ賞賛の言葉として使用されている。「양희은·한대수 함께 부르는 행복의 나라로」, 『한겨레』, 1999.4.29.

1986)には、‘退廢歌謡’に分類されてもおかしくないような歌も散見される。「사랑 사랑 누가 말했나, 바보들의 이야기라고」(愛, 愛, 誰が言ったの, ばか者共の話だと)などという句節を含む「사랑 사랑 누가 말했나」も、「어찌다 마주친 그대 모습에 내 마음을 빼앗겨버렸네」(どういわけかめぐり会ったあなたの姿に私の心を奪われてしまった)という句節で始まる「어찌다 마주친 그대」も‘健全歌謡’である。

外国由来の歌としては、「클레멘타인」(クレメンタイン)を含む23曲が収められている。「드레미 송」(ドレミの歌), 「생일축하 노래」(誕生日の歌), 「아가씨들아」(娘さんたちよ, 日本の歌「森へ行きましょう」と同一), 「여수」(旅愁)等は日本でもよく知られており, 歌詞も日本語とほぼ同様である。他に曲は日本でもよく知られているが, 歌詞は全く異なるものも含まれている。日本では「グリーン・グリーン」の題名で知られている歌は, 「언덕에 올라」(丘に上って)という題で, 一人の女性を懐かしむ歌詞になっている。日本で「蛍の光」に使用されているスコットランド民謡の旋律には, 再会を誓って酒を共に飲むという内容の歌詞が付けられている。題は「작별」(別れ)で, 離別の歌ではあっても蛍は登場しない。他に聖書を基にした歌もあり, 「사랑」(愛)は「コリント人への第一の手紙第十三章」の句節が歌詞になっている。またボーイスカウト指導者がフィリピンで開かれた大会に参加した際に覚えたというフィリピンの民謡「예뻐이 따따이」(Ye Poy Ta tay)も収められている。

このように「健全歌謡」とされている外国の歌には, 共通する選曲基準を見出すことは難しい。各歌にそれを選んだ主体があり, 何らかの理由があったのだろうが, 今ではその経緯を確かめるすべはない。「いとしのクレメンタイン」は, 原曲とは異なって父娘の情を示しており, それが健全だと言えないことはない。この歌が政権の周辺でどのように解釈されたのか, それを示す随筆集がある。

1922年生まれの政界人徐壬壽 [서임수] は, 1978年に随筆集『나의 사랑 클레멘타인』(いとしのクレメンタイン)を刊行している。徐壬壽は, 植民地解放の年である1945年に京城帝國大學法文学部を卒業, 国会議員や新聞社の副社長を経て, 1976年から韓国海外開発公社の社長を務めた。同じ京城帝國大學法文学部の先輩に兪鎮午 [유진오, 1906-1987] がおり, この随筆の序文にも登場して親交があったことを示している。兪鎮午は植民地期に秀逸な小説を数多く発表した文学者として, また解放後は大韓民国憲法制定委員を務めて大韓民国憲法の礎を築いた法学者として知られる人物である。徐壬壽の妻康信哉 [강신재, 1924-2001] は小説家で, 1960年代から70年代に流行作家の一人として活動した。このような人的関係の中で徐壬壽自身も, ドイツ語圏の政治学関連研究書の翻訳書や, 随筆集を何冊か出版している。随筆集『いとしのクレメンタイン』はそのうちの一冊で, 30年間にわたって少しずつ書いた文章を集めたものという。

題名となった歌「いとしのクレメンタイン」は, この随筆集に収められた同タイトルの短い

文章「いとしのクレメンタイン」において登場する。ニューヨークで仕事を済ませた「私」は、ブロードウェイとグリニッジビレッジで観劇に時を過ごし、明日にはヨーロッパへ旅立つ予定となっている。出発直前の日、ホテルでわざわざ「扮装」して金の無い流浪者を装い、ヒッピーたちが集まる広場に行って酒宴に加わった。外来者としてヒッピーたちを眺めるのではなく、彼らの一員として話して見たいと考えたからという。そして彼らと酒を酌み交わして芸術論を戦わせながら、ふとクレメンタインの歌を思い出して歌う。その場面を日本語にすると次のようなものである。歌の部分は原語のままとする。

彼らが歌を歌い始めた時、私は彼らのうちの一人（最初に私に話しかけた女性）の名前がクレメンタインだったので、「いとしのクレメンタイン」を歌った。雰囲気には合わなかったかもしれないが、彼らに無く、彼らが探しているものがこの歌の世界なのかも知れない。⁵⁷⁾

「私」は次の朝、ヒッピー達が周りで酔いつぶれて雑魚寝している中、目を覚ます。

私はそっと起きて紙きれに昨夜歌った歌を書き記した。

넓고 넓은 바닷가에 오막살이 집 한 채
고기 잡는 아버지와 철 모르는 딸 있다.....

「私」はヒッピー達と芸術論を戦わせるほど流暢な英語を話す人物であるが、「いとしのクレメンタイン」の歌詞は英語で記されていない。まだ眠っているヒッピー達を起こさぬよういくばくかの金を残してその場を立ち去ると、ホテルに戻ってヨーロッパへ出発する準備をしながら再び「いとしのクレメンタイン」を歌う。

熱いシャワーを浴びてヒゲを剃り、髪にラベンダーの香水を振りかけた。ネクタイを首にしめ、カフスにリンクをはめ、靴のひもをしめた。文明社会に戻る鎧を着たのだ。今から世界最大のケネディ空港に行くことになる。私は車の中で目を閉じ、ひとり口の中で、「いとしのクレメンタイン」を口ずさんでみた。

내 사랑아 내 사랑아 나의 사랑 클레멘타인
늙은 아버 혼자 두고 영영 어디 갔느냐⁵⁸⁾

57) 서임수, 『나의 사랑 클레멘타인』, 관동출판사, 1978, p.55. 日本語訳は私訳。

58) 서임수, 『나의 사랑 클레멘타인』, 上掲, p.55. 日本語訳は私訳。

ここでもまた、アメリカ民謡の *My Darling Clementine* ではなく、韓国の歌「いとしのクレメンタイン」が記されている。この歌の原曲を徐壬壽が知らなかったと見るよりは、意図的に原曲と対比されていると見る必要がある。

この文章は「私が向かっているところが文明社会だというなら、その文明社会とはいったい何なのか」という一文で締めくくられ、文末に1972年12月と書き添えられている。この時期は、韓国現代史においてあまりにも重い意味合いを持っている。1972年10月朴正熙大統領による特別宣言及び特別戒厳宣布、11月憲法改正、12月朴正熙大統領四選と続く一連の出来事を経て、「十月維新」体制が幕を開けたその1972年12月である。

徐壬壽は朴正熙政権における中心的な政界人として、韓国海外開発公社社長に就任して世界を駆け巡る多忙な生活を送った。韓国海外開発公社とはどのような機関なのか。李昊 [1952-] の「公開できなかった取材手帳」には「韓国初の人力輸出公式窓口であった海外開発公社」が作られたいきさつが生々しく記録されている。

民間人のベトナム派遣の為に、政府が積極的に後押しした代表的な会社がハンジンだとすれば、遊休人力をまるで動員するように募集して送ったところが‘海外開発公社’だった。韓国最初の‘人力輸出’公式窓口であった海外開発公社は、経済的実利を得るために、当時中央情報部石正善次長補が作り出した作品だった。彼は政治的に見れば、金鐘泌 (JP) の右腕として‘下克上事件’の主役中の一人だが、すでに1962年5月から、ゴ・ディン・ジエムベトナム大統領と人力輸出問題を論議する密談を交わすほどに、卓越したアイデアマンだった。

国家産業発展のためには、何より優秀技能者を養成せねばならないという主張によって、全国技能競演大会を開催するようにしたのも彼だった。石次長補は、当時陸軍本部管理参謀部次長沈興善所長と、朴蒼岩革命検察部長、李勳燮合参軍需企画局次長等と共に、軍事視察団の一員としてベトナムに到着し、ゴ・ディン・ジエム大統領と直接極秘会談をした後、海外開発公社を作ったのだ。生前、ロサンゼルスでインタビューをした石次長補は、政府がどれほどベトナム戦を経済発展に活用しようとしたかについて、過不足無く聞かせてくれた。⁵⁹⁾

59) 「공개 못한 취재수첩」(公開できなかった取材手帳)は、経済雑誌『이코노미스트』(エコノミスト, 中央日報社)に連載, 直接取材した政財界要人へのインタビューを中心に政治経済史を振り返る。韓国海外開発公社に関する記事は「박정희의 도박 월남파병-세탁업자까지 월남가서 돈 벌어」(朴正熙の賭博, ベトナム派兵-洗濯業者までベトナム行って金稼ぎ), 『이코노미스트』 955号, 2008.9.30, p.76。日本語訳は私訳。

こうして海外開発公社が設立され、1966年から民間人技術者のベトナム派遣が開始された。設立当初はベトナム派遣だけを目的としたというが、それ以外の方面でも失業者対策と外貨獲得の為の労働力国外派遣という政府の方針を実現化する実務担当機関となった。看護従事者や鉱夫の西ドイツ派遣、工事関連車両操縦士等の西アジア派遣に加えて、カナダ、オーストラリア、エクアドル、パナマ、コスタリカ等各国へ就労移民の窓口としての役割を担っていた。1991年に改組された後は、韓国国際協力団として開発途上国への人的支援の窓口となって現在に至る。徐壬壽が社長に就任した1976年にはすでにベトナムからの撤収は完了し、その他の地域への労働者派遣や就労移民へと活動の主眼が移されていた。⁶⁰⁾ 良きにつけ悪きにつけ、1960年代から80年代にかけての韓国経済の様相に、海外開発公社が果たした役割は大きい。公社の社長は大統領名による任命であった。⁶¹⁾

その徐壬壽は、韓国の歌「いとしのクレメンタイン」について、「彼ら [アメリカのヒッピーたち - 引用者] に無く、彼らが探しているもの」が「この歌の世界」にあるという。それは必ずしも明確ではない。しかし原曲のアメリカ民謡の *My Darling Clementine* にはない「世界」だということになる。原曲は1840年代のゴールドラッシュを背景に、一獲千金を夢見る人々の生きざまを歌う。韓国の歌「いとしのクレメンタイン」は、父と娘が互いの身を案じ合う。‘孝道’ とそれに応える ‘親の情’ が、「彼ら [アメリカのヒッピー達 - 引用者] に無く、彼らが探しているもの」だということになるだろう。徐壬壽はそこに、欧米の文明社会に対峙し得るものを読み取った。

韓国的な何かが欧米の文明に対峙し得るという自負は、1972年10月の朴正熙大統領特別宣言と呼応する。朴正熙大統領は「이 나라의 자유민주주의를 더욱 건전하고 알차게, 그리고 능률적인 것으로 육성 발전」(この国の自由民主主義をより健全で実の詰まったものに、そして能率的なものに育成、発展) させる為に「우리의 실정에 가장 알맞는 체제개혁을 단행」(我々の実情に最も適合した体制改革を断行) することを宣言した。⁶²⁾ 他の国とは異なる「この国の自由民主主義」を実現する為に、朴正熙大統領は「わが民族史の進運を誇らかに開拓して行くための私の重大な決心」をした。そして国民がその「決心」に同調するよう要求した。大衆音楽もまた、その掛け声に唱和するよう編成された。それが ‘健全歌謡’ である。

60) 韓国海外開発公社の刊行物は、1970年代には西ドイツやインドネシア等への労働者派遣に関する資料集が多く、1980年代に入るとオーストラリア、コスタリカ、アメリカ等各国への『移民ハンドブック』が各種発行されている。公社の活動についてはこれ等の刊行物を参照した。

61) 徐壬壽韓国海外開発公社社長就任については、朴正熙大統領による人事発令案の文書(1976)が現存している。慶北大学校中央図書館所蔵。

62) 「朴大統領特別宣言全文」、『경향신문』, 1972.10.17。発表当時日本でも『月刊共産圏問題』(1972.12, pp.55-59)に全文が翻訳掲載された。

この後1980年代後半まで続く大衆歌謡統制下で、他の歌謡に交じって「いとしのクレメンタイン」にも、‘健全歌謡’という名札が付けられた。1990年代に入ると、‘健全歌謡’という名札を付けられた歌のあるものは、軍事政権時代の風俗として過去のものとなった。またあるものは、‘健全歌謡’という役割を与えられる前と同様の、平凡な愛唱歌となった。しかしとりわけ「いとしのクレメンタイン」はその後も、‘我が民族の情緒’を体現する歌として、韓国の人々の思い入れを引き受けることになった。

4. 参照される物語としての「いとしのクレメンタイン」

欧米の文明に対峙し得る何かものかを、韓国の「いとしのクレメンタイン」に読み取ったのは、軍事政権時代の政界人だけではない。例えば2004年に韓国で『클레멘타인』(クレメンタイン)というアクション映画が公開された。⁶³⁾ この映画では、格闘技テコンドーの世界的競技者である主人公が、アメリカ人格闘家との闘いの中で八百長試合に巻き込まれる。その取引の過程で、男手一つで育てる娘を拉致され、その娘の救出の為に命をかけてテコンドーの試合に臨む、という内容である。結末では戦いに勝利して娘を取り戻し、娘の母親とも再会し、家族が回復される。かなりあからさまにアメリカ社会の‘退廃性’を強調する一方で、韓国の共同体回復への挑戦を成功的に描く作品である。その主題歌として韓国の「いとしのクレメンタイン」が使用され、作品のタイトルにもなっている。

その他の文芸においても頻々と引用され、韓国の文芸史の中でも主要な参照的物語の一つとして定着している。といっても、共同体回復の物語が、「いとしのクレメンタイン」に常に随伴される物語というわけでもない。

1945年ソウル生まれの作家崔仁浩 [최인호] の随筆集に、歌と同題の『나의 사랑 클레멘타인』(いとしのクレメンタイン)がある。この作家は、近年の日本ではドラマの原作本『商道』や『消えた王国』が翻訳されるなど、歴史エンターテインメント作家として紹介されたが、本国での評価はそれとは異なる。代表作『바보들의 행진』(ばかたちの行進, 1973)をはじめとする連作や、中篇「깊고 푸른 밤」(深く青い夜, 1982)の作者として記憶されている。⁶⁴⁾ 連作では、激しい政治的抑圧とその半面としての消費生活拡散の中で、人からは呆れられる‘阿呆’であることにしか自己表出の方途を見出せない若者たちが、作品の中で所狭しと蠢いている。映画化され

63) 金斗永 [1964-] 監督, 이동준, 金慧利出演, 2004, 100分。

64) 『바보들의 행진』(ばかたちの行進)は1973年連作掌編として『일간스포츠』(日刊スポーツ)紙に連載, 1975年河吉鐘監督によって映画化。日本での翻訳に『ソウルの華麗な憂鬱』(重村智計・古野喜政訳, 国書刊行会, 1977)がある。映画化された作品として『병태와 여자』(ビョンテとヨンジャ, 河吉鐘監督, 1979), 『고래 사냥』(鯨捕り, 裴昶浩監督, 1984)等がある。また『깊고 푸른 밤』は『現代韓国短篇選』下(三枝壽勝他訳, 岩波書店, 2002)に『深く青い夜』(水野健訳)として収められている。

て観客動員数や作成手法の斬新さといった点で、韓国映画史上記念碑的な作品と評価される。映画の挿入歌は学生運動歌の定番にもなった。1970年代の韓国の世相を理解する上で不可欠な作品である。

その作者崔仁浩による『いとしのクレメンタイン』は、1975年から実に27年余にわたって月刊誌に連載された崔仁浩自身の家族をめぐる随筆の再録本で、1996年から1999年に発表された文章が収められている。⁶⁵⁾ その中に韓国の歌「いとしのクレメンタイン」が引用されつつ、作者と自身の子供について語る短い文章「아버지와 딸」(父と娘)がある。その内容を日本語にすると次のようなものである。歌詞の部分は原語のまま引用する。

最近、幼い頃歌っていた次のような内容の歌が、よく思い浮かぶ。

넓고 넓은 바닷가에 오막살이 집 한 채
고기 잡는 아버지와 철 모르는 딸 있다
내 사랑아, 내 사랑아, 나의 사랑 클레멘타인
늙은 아버 혼자 두고 영영 어디 갔느냐

アイルランドの民謡なのか、アメリカの民謡なのか、その歌にまつわるエピソードはよく知らないが、我が国の言葉に置き換えた改辞 [この単語にのみ漢字が併記されている－引用者註]、それだけは感心させられる。どうやら、クレメンタインという娘のいる魚とりの父が、海辺に暮らしているようである。歌詞の内容から見て、娘を産んだ母親は早くにこの世を去ったのか、この年老いた漁師は、ひたすらに幼い娘一人を愛して、魚をとって生きていたようである。ところがある日、この年老いた漁師の生命であるその娘が、どこかに消えてしまったようだ。再び帰ってこないであろう遠いところに。老いた父を一人残して家出してしまったのではないだろうし、おそらくは、愛する男に巡り会って、共に自分の人生を求めて海辺を去ってしまったのだろう。⁶⁶⁾

続けて作者は、いつか自分の娘もクレメンタインのように、愛する人に巡り会って父のもとを去って行くのであろうと感慨を述べる。平凡な内容だが、それと共に引用されている歌詞から読みとられた意味が、極めて限定的であることが注目される。この歌は、漁に出た父を心配して海辺に出た娘が荒波にさらわれた、と解釈されることが一般的だ。ところが崔仁浩の解釈で

65) 掲載誌は月刊誌『샘터』。

66) 최인호, 『가족 6 나의 사랑 클레멘타인』, 샘터, 2002, p.42. 日本語訳は私訳。

は、父を案ずる娘の‘孝道’も、暗示される死も、全く言及されていない。娘の結婚を語る「딸이 떠난 방」(娘が去った部屋)という随筆の中では、「人生とは通俗小説それ以上でもそれ以下でもない」⁶⁷⁾という一文が繰り返される。「いとしのクレメンタイン」の歌詞を思い浮かべながら、去った娘を想って涙を流す父としての自分の姿を、「通俗小説」の登場人物の一人にすぎないと自ら規定する。彼にとって「いとしのクレメンタイン」は、娘が父から離れて自らの人生を歩んで行く物語であって、それ以上でもそれ以下でもない。娘は父を案ずるべきだという孝道も、娘を守るべきは父だという道義的指針も、家族という共同体回復の物語も無い。

崔仁浩は、激化する民主化闘争の中で学生生活を過ごしながらも、長い作家活動の間一貫してイデオロギーを避けて通った。日本でも抵抗詩人として知られる金芝河 [1941-] に象徴されるように、同時代の韓国文学は反体制文学が主流であった。その中で文壇の評価は低くとも、民主化闘争を作品の背景としてのみ配置し、「阿呆」な者たちを描き続けて一般読者の支持を得た稀有な作家と言える。「いとしのクレメンタイン」の歌を、共同体回復の物語とは別個の物語として提示する手法は、それらの作品と呼応する。

「いとしのクレメンタイン」の前段階として、*My Darling Clementine*の旋律に添えられた「沈清歌」があったことを、崔仁浩が知っていた可能性はまず無い。しかし結果的にその解釈は、元の「沈清歌」の物語と合致している。*My Darling Clementine*では娘は永遠に帰ってこない。しかし「沈清歌」は娘の‘婚姻譚’でもある。海に捧げられた娘は、その孝道に感心した海神によって地上に送り返され、時の権力者の寵愛を受けて栄華をつかむ。

1920年前後の一時期、*My Darling Clementine*の旋律に乗って歌われた「沈清歌」を知る人は今は無く、ソウル市郊外の図書館に所蔵された1冊の歌集のみが、ひっそりとその姿を伝えている。あらすじのみを追うと、「沈清歌」は平凡な孝道の物語に過ぎない。しかしそこに含まれている数十の歌は、様々な人生の機微を歌い上げる。娘の犠牲にもかかわらず、父が開眼することは無い。盲目のまま父は自らの人生を歩み始める。口のうまい女と再婚し、娘の身代金を持ち逃げされる。物乞いをして放浪しながらもゆきずりの女性たちと恋歌を交わす。その姿は、父であった頃よりも生き生きと歌い上げられる。娘のほうは、孝女としては一度死ぬ。しかし救済された後は、一個の人間として自分の人生を生きる。時の権力者の寵愛を受けた娘は、国中の盲人を招待するだけの富を手中にする。父は誰の助けも借りることなく、噂を頼りに娘との再会を果たす。この物語は、あるべき父娘の姿から解放された人間が、一個の個人として‘再生’する話でもある。

主人公の名が「沈清」から「クレメンタイン」に戻ると共に、「沈清歌」の文脈は失われた。原曲のゴールドラッシュソングという文脈も取り戻されることは無かった。文脈を失った「い

67) 최인호, 『가족 6 나의 사랑 클레멘타인』, 前掲, p.182. 日本語訳は私訳。

としのクレメンタイン」は、韓国の人びとの様々な思い入れを引き受けることになった。軍事政権期には‘健全歌謡’の一つとして、国民統合を支える役割を背負わされた。短い歌詞から娘の孝道と父の情という情緒のみが読み取られた為だ。‘健全歌謡’という名札を外された後も、欧米文明に対抗し得る韓国的な情緒の体現という解釈が消えることはなかった。「沈清歌」の文脈を取り戻さないまま、現代韓国における「いとしのクレメンタイン」は、共同体回復の物語として、または日本を経由しない欧米の直接受容の象徴として、参照され続けている。